

「夏の電力需給対策」説明会開催

「夏の電力需給対策」に関する説明会を平成24年6月15日(金)に大阪(大阪ドーンセンター)、19日(火)に東京(JJK会館)で開催された。5月18日付けで「今夏の電力需給対策について(エネルギー・環境会議等)」及び「夏季の省エネルギー対策について(省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議)」が決定されたのを受け、今夏の電力需給の状況と省エネルギー対策や節電メニューについて説明された。



大阪での説明会では、経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境課長 玉野氏、エネルギー対策課 課長補佐 武田氏から、関西地区の電力需給状況について説明があった。

関西電力管内では、昨年の東京電力管内で想定されたピーク電力不足よりも厳しい状況になる恐れがあるとのこと。そこで、ピーク時間帯の使用最大電力を7月2日から一昨年度比15%の節電を要請することとなった。また、電力需給ひっ迫の可能性がある場合には、前日の18時、当日の8時、計画停電開始の2時間前に関西電力から警報が発令されることや、計画停電が実施される場合には1回の停電時間は2時間程度とするが、関西地区は1日複数回の計画停電が実施される可能性があることについて報告があった。

参加者からは、計画停電の区分けを早急に出して欲しいといった要望があった。

東京での説明会では、資源エネルギー庁 電力需要対策官 神門氏から各電力地域の電力需給状況について説明があった。今夏の電力需給ギャップについては、関西、九州、北海道、四国でピーク電力不足が想定されており、上記4地域と合わせて、中部、北陸、中国で数値目標をもった節電を要請することとなった。なお、全国共通の要請として、「数値目標を伴わない節電」を要請することとしている。

また、電力の脱落等万が一に備えて、関西、九州、北海道、四国にて計画停電の準備を進めており、詳細は今週中には報告される見込みであるとあった。

当日の資料は以下からダウンロード出来る。

大阪開催資料 (<http://www.jisa.or.jp/seminar/download/120615.pdf>)

東京開催資料 (<http://www.jisa.or.jp/seminar/download/120619.pdf>)

(大原)